

令和4年2月 斐伊川水系水質情報

令和4年2月(宍道湖10日・中海8日採水)					単位:mg/l(Chl-a: µg/l)					
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	5.4	△	平年並み	2.8	○	良好	3.4	△	平年並み
全窒素	上層	0.52	△	平年並み	0.33	○	良好(平年並み)	0.59	△	平年並み
全リン	上層	0.045	△	平年並み	0.024	○	良好(平年並み)	0.023	○	良好
Chl-a	上層	49	×	やや高い	9.0	△	平年並み	5.3	△	平年並み
塩化物イオン	上層	3,350	△	平年並み	11,500	△	平年並み	6,040	△	平年並み
	下層	3,370	△	平年並み	15,400	△	平年並み	12,500	△	平年並み
溶存酸素	上層	13.7		やや高い	11.3		やや高い	12.5		平年並み
	下層	13.2		やや高い	8.6		やや高い	10.0		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.4	やや上昇	2.8	横ばい	3.2	横ばい
全窒素	上層	0.39	やや上昇	0.31	横ばい	0.38	上昇
全リン	上層	0.040	横ばい	0.029	横ばい	0.029	横ばい

宍道湖の透明度は1.0mから1.1mと横ばいで、平年並み。中海の透明度は2.4mから2.6mと横ばい。米子湾の透明度は2.0mから2.4mとやや上昇し、良好になっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

平均値+標準偏差値の3倍	★	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の2倍	☆	<かなり高い>
平均値+標準偏差値 10年間平均値	×	<やや高い>
平均値-標準偏差値	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い> (塩化物イオン)
平均値-標準偏差値の3倍	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ68.2%

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ95.5%

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ99.7%